

## 上町台地 もしも・いつもの“避難所”ウォッチング

日時： 2010年9月13日(月)～2011年1月28日(金)10時～17時頃

場所： 大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 内 1階北 U-CoRo ウィンドウ

大阪市天王寺区清水谷町 6-16(地下鉄「谷町六丁目」駅 7号出口徒歩 5分)

### ■企画の趣旨

ふだん遠い存在のように感じていても、いつ身近に起こるかもしれないのが災害です。そして、もしものときに、私たちのいのちと暮らしを支える拠点となるのが、“避難所”です。けれど、避難所はいつも普通に暮らしているまちの中にありながら、なかなか身近に感じにくいものでもあります。もしものときの避難所が、いつも身近な存在になれば、もっと地域の安心についてリアルに考え暮らすようになるのではないのでしょうか。

そんななか、大阪市内・上町台地界隈の数箇所で、地域のみなさんが行政や学校と協働して、避難所の開設訓練や見学会に取り組み始めています。もしものときに混乱することなく、冷静に被災者の救援に地域の力を結集できる避難所運営のあり方について、具体的な方策を検討されている例や、日ごろから小学校をコミュニティの交流の場として活用することで、もしものときのスムーズな避難所運営の基盤づくりとされている例など、地域の特性に応じた多彩な工夫が見られます。

U-CoRo ウィンドウ・エキジビション第 12 弾となる今回の展示「上町台地 もしも・いつもの“避難所”ウォッチング」では、避難所体験から生まれる減災まちづくりについて、初めの一歩から地域への広がりまで、さまざまな段階の取り組みに学びます。貴重な智恵を分かち合う機会となりましたら幸いです。

主催： 大阪ガス エネルギー・文化研究所(CEL)

企画： U-CoRo プロジェクト・ワーキング

問合せ先： 06-6205-3518(担当:CEL 弘本)

協力： 生野区役所、浦野院次さん、大阪市危機管理室、大手前高校、からほり倶楽部、北大江まちづくり実行委員会、北大江連合振興町会、源聖寺、高津宮、五条小学校、小西睦夫さん、(特活)コリア NGO センター、三婦会、菅磨志保さん、中央区役所、天王寺区役所、西代官山クラブ、西宮市、東中川小学校、東中川連合振興町会、富士原純一さん、南高校、山口洋典さん、(特活)レスキューストックヤード、ロジモク研究会、そのほかのみなさま(50音順)



▲新潟県中越地震(2004年)で避難所になった体育館  
(写真提供:(特活)レスキューストックード)

■主な展示内容

◎上町台地 もしも・いつもの“避難所”マップ など

災害が起こったときに身を寄せ、安全を確保するための避難所にはいくつかの種類があります。一時避難所や広域避難場所は、災害の際に身の安全を確保するために集まる場所。収容避難所は、災害によって避難生活を余儀なくされた場合に一定期間の避難生活を行う所です。

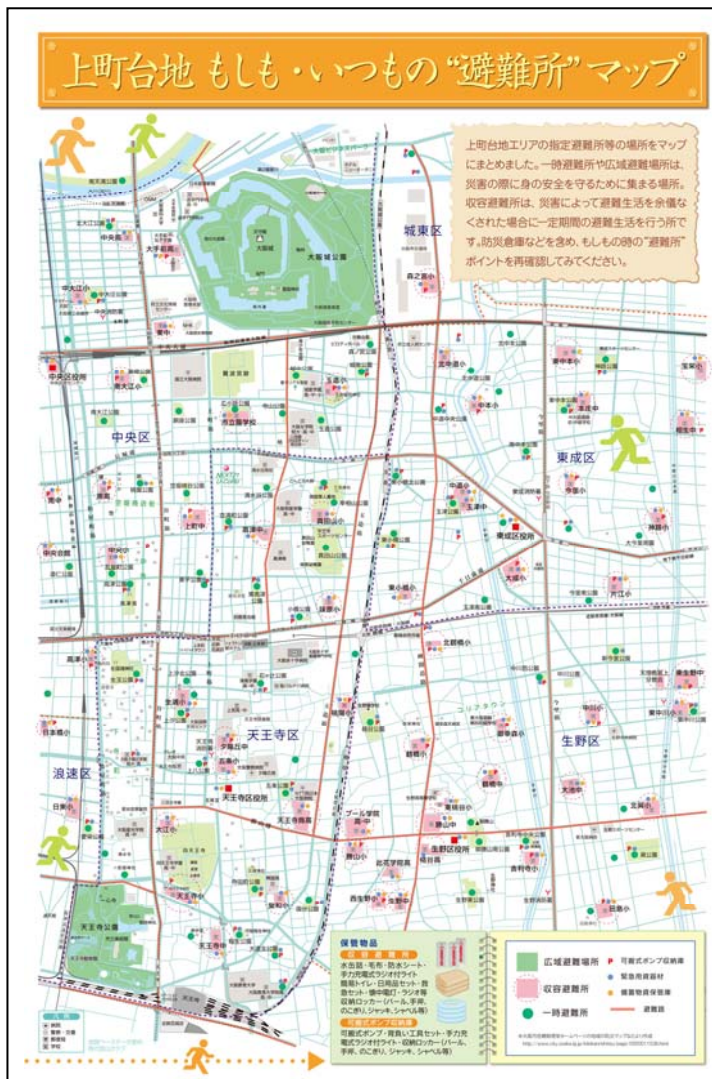
上町台地境界での、もしもの時の“避難所”ポイントを再確認いただけるように、指定避難所等の場所を、防災倉庫なども含め、マップにまとめてご紹介しています。

◎上町台地 “避難所” 取材ノート など

大阪市内・上町台地境界の数箇所で、地域のみなさんが行政や学校と協働して取り組まれている、避難所の開設訓練や見学会などの様子を、取材ノート風にまとめてお伝えします。

住商工一体のまちで、避難前の安否確認も織り込んだ避難所開設訓練。小学校（避難所）と地域の普段付き合いから、避難所開設訓練を目指すまち。避難所見学会で、ちょっと縁遠い高校（避難所）とのつながりをつくる都心のまち。みんなで生き抜く道を探り始める、路地と長屋と商店街のまち。お寺を仮想の避難所に仕立てた、寺町ならではの防災・減災の体験イベント。未来の被災者に向き合って、もしもの時の智恵の吸収・共有に努める神社。

多くのみなさまの参考にしていただけますよう、初めの一步から地域への広がりまで、さまざまな段階の取り組みをご紹介します。



※ 会期中の平日上記時間帯には、展示内容を紹介したミニリーフレットを設置して配布しています。